

無意識な差別はあなたの傍に！？ ～人種プロファイリングの実態に迫る～

《南川ゼミ かわあ～ず》

1. 『人種プロファイリング』とは？？？

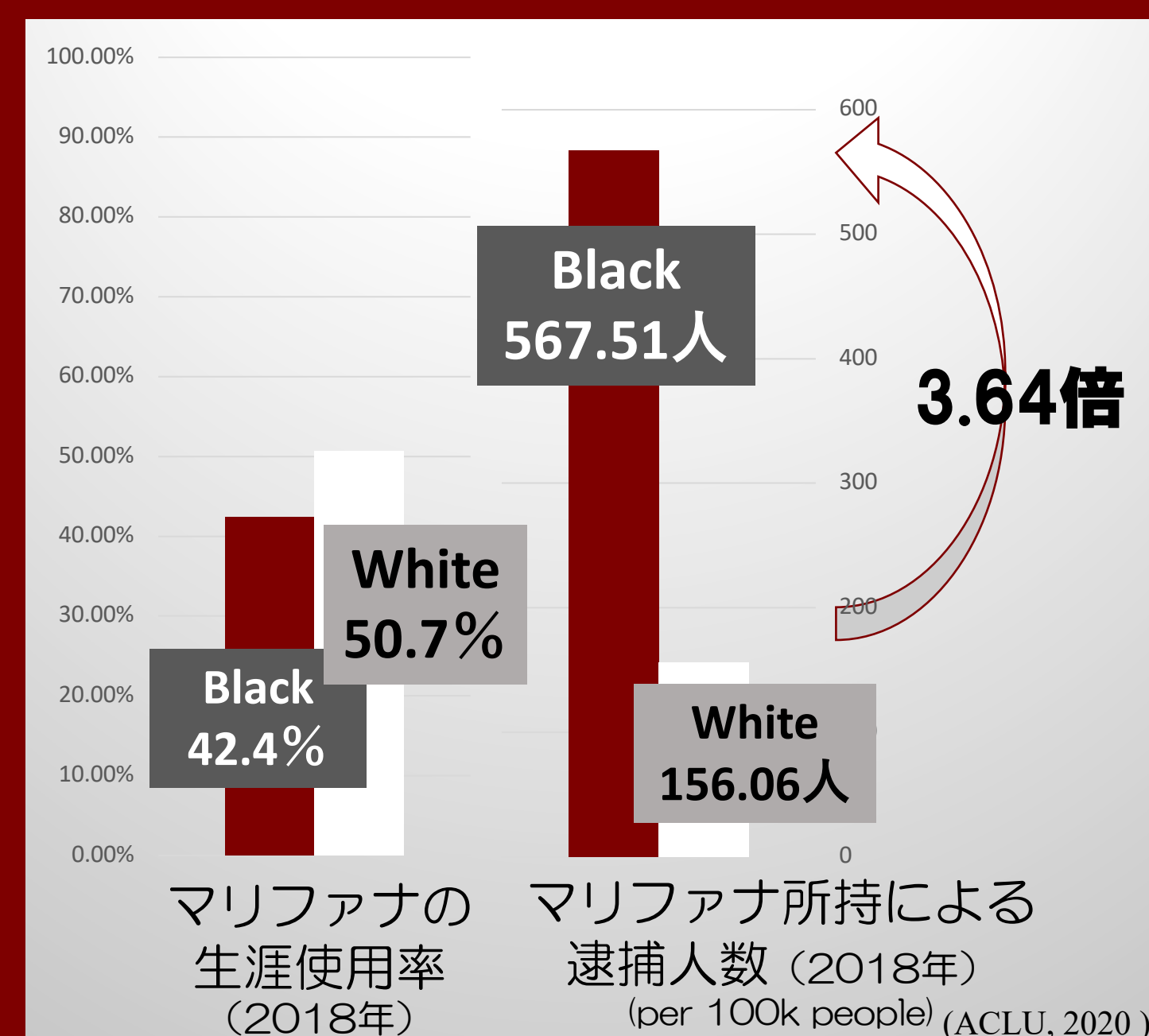
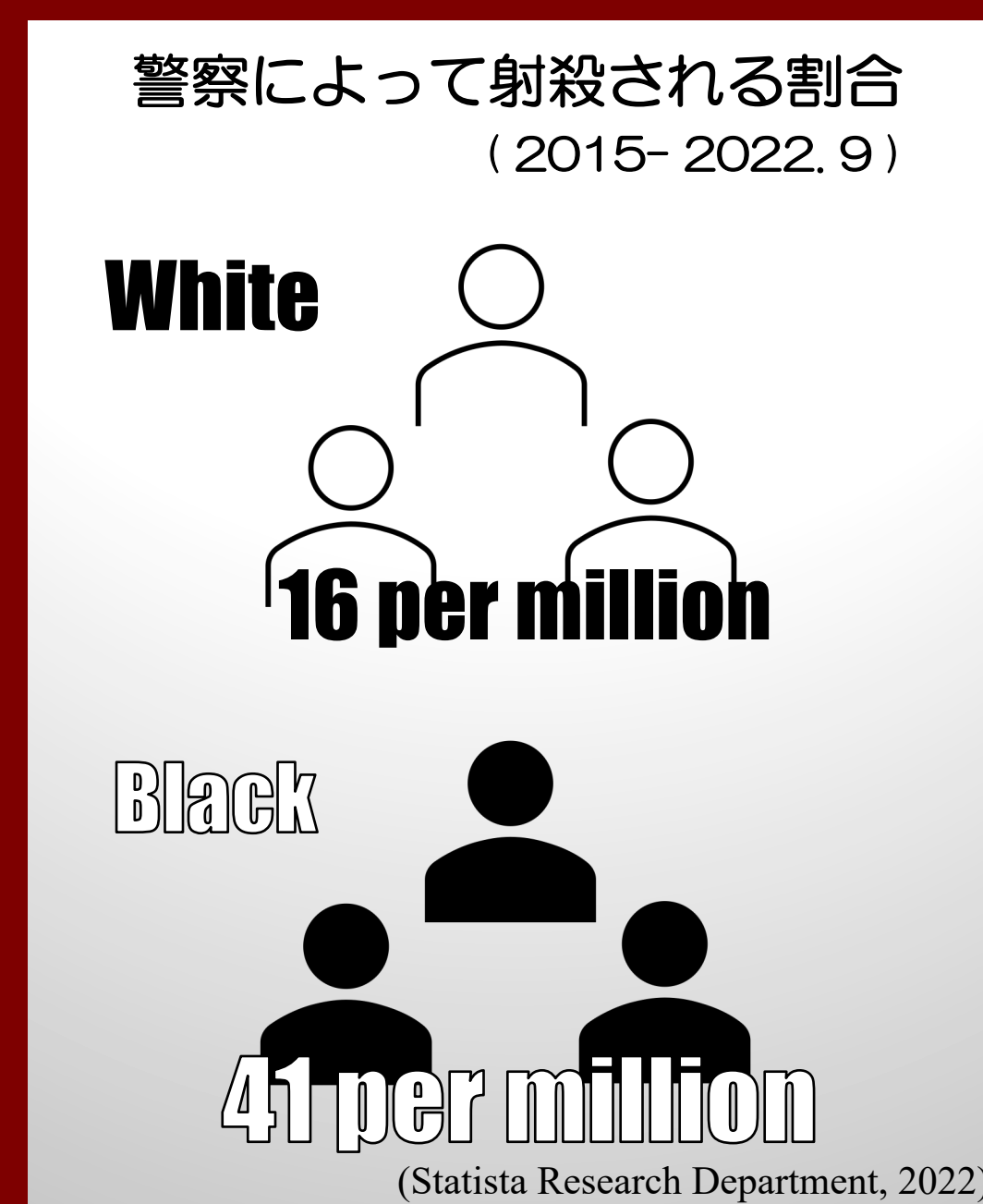
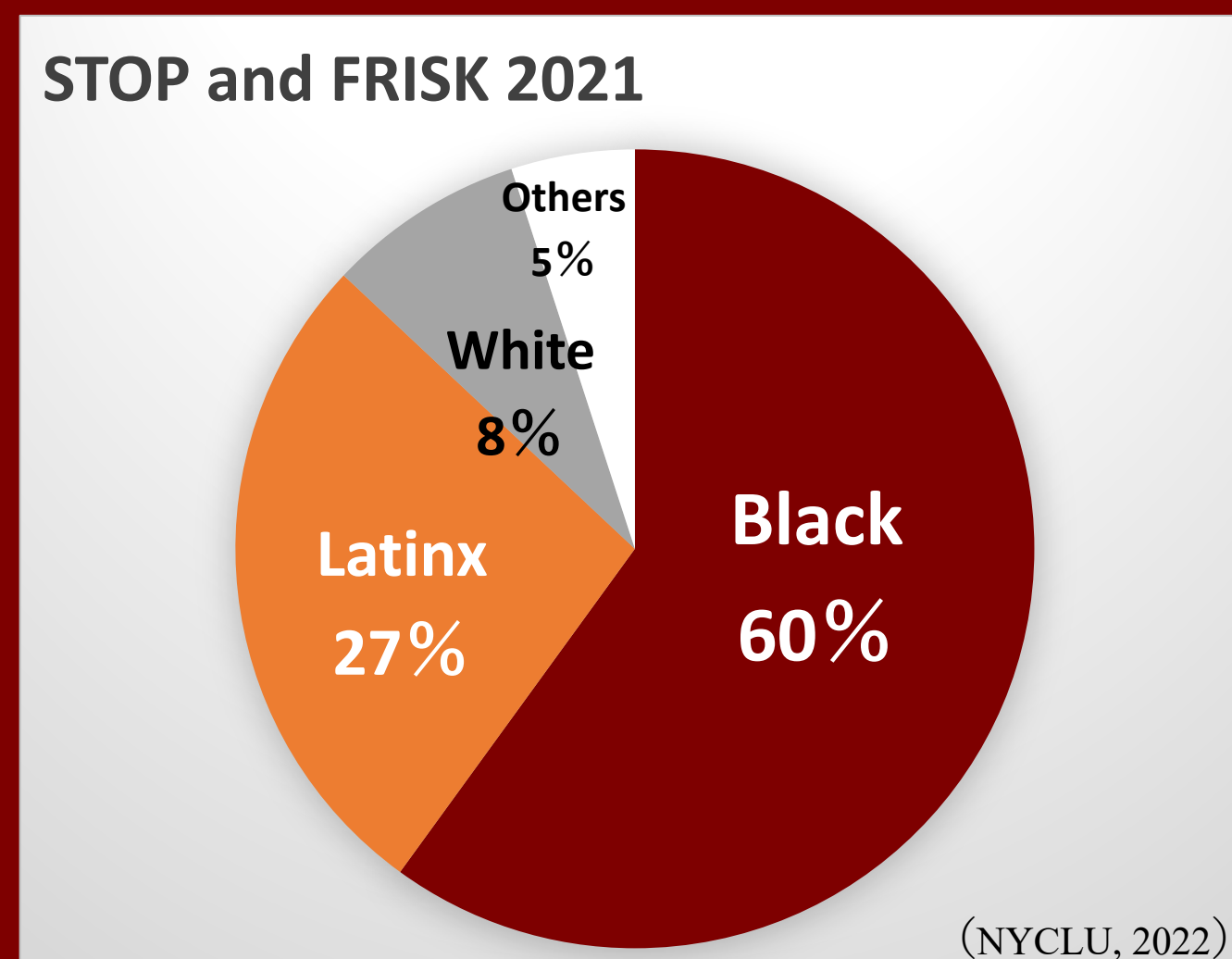
警察などの法執行機関が、人種や肌の色、民族、国籍、言語、宗教といった特定の属性であることを根拠に、個人を捜査の対象としたり、犯罪に関わったどうか判断したりすること (HUFFPOST, 2022)

◆人種プロファイリングの世界的認識

2020年11月
《国連人種差別撤廃委員会 (CERD)》
「法執行官による人種プロファイリングの防止
およびこれとの闘いに関する一般的勧告36号」を採択

なぜ人種プロファイリングは問題ある行為なのか？

◆アメリカにおける事例



2. 人種プロファイリングの背景

○アメリカの警察機関の歴史

逃亡奴隷の追跡と監視を行う組織から始まる

例) 19世紀頃：警備隊の形成
→奴隷人口の管理
19世紀以降：人種隔離政策の執行を担う
20世紀中頃：公民権運動を抑圧する

○刑事司法の場における無意識の差別

法執行機関が歴史的に形成してきた
差別的文化に基づいた制度や方針

⇒無意識のバイアスを生み出す
原因になっている

一連の研究により、

「黒人は犯罪と結びつけられやすく
無意識のバイアスは認知や行動を
知らぬ間に方向づけている」

と示されている

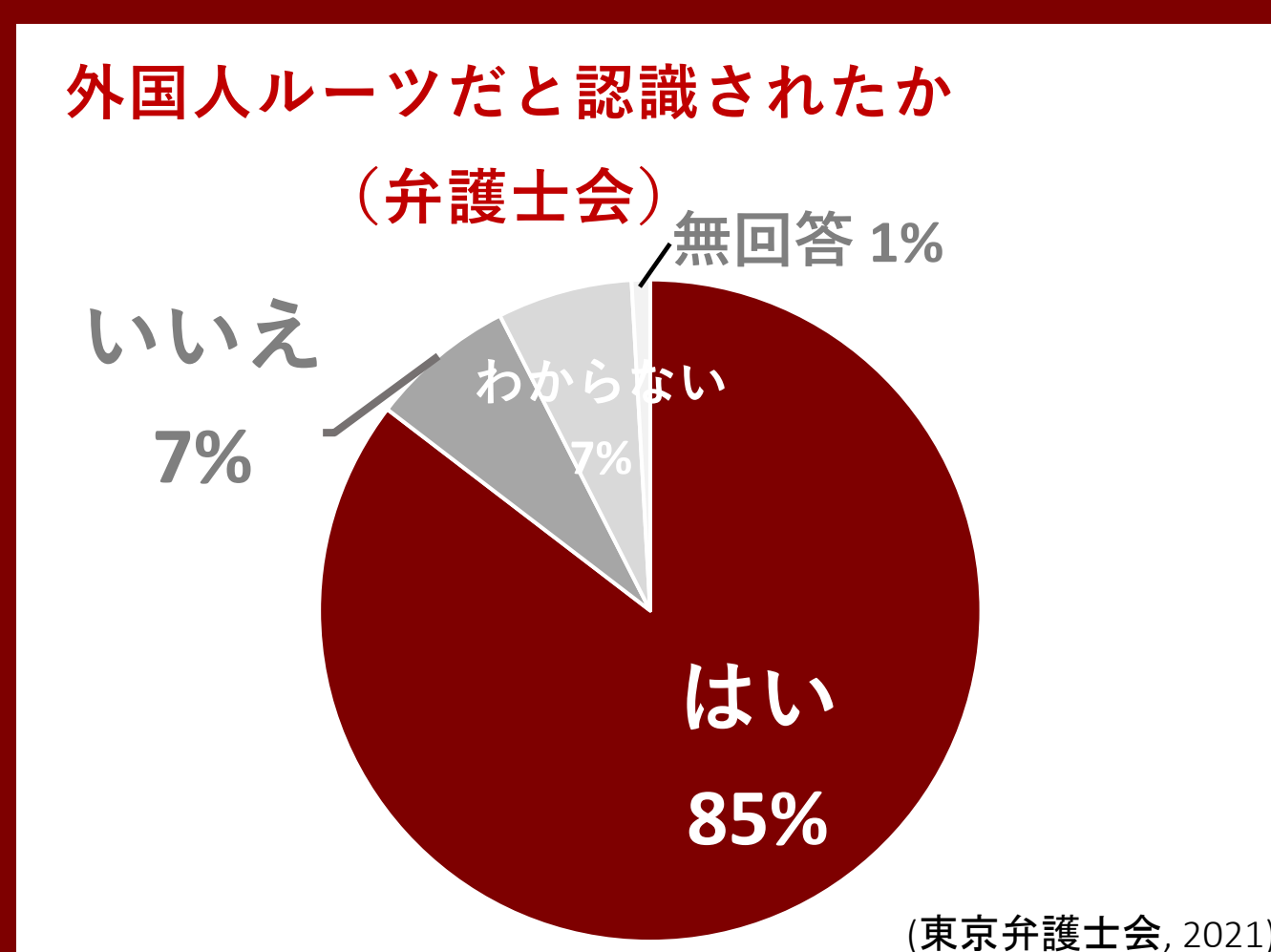
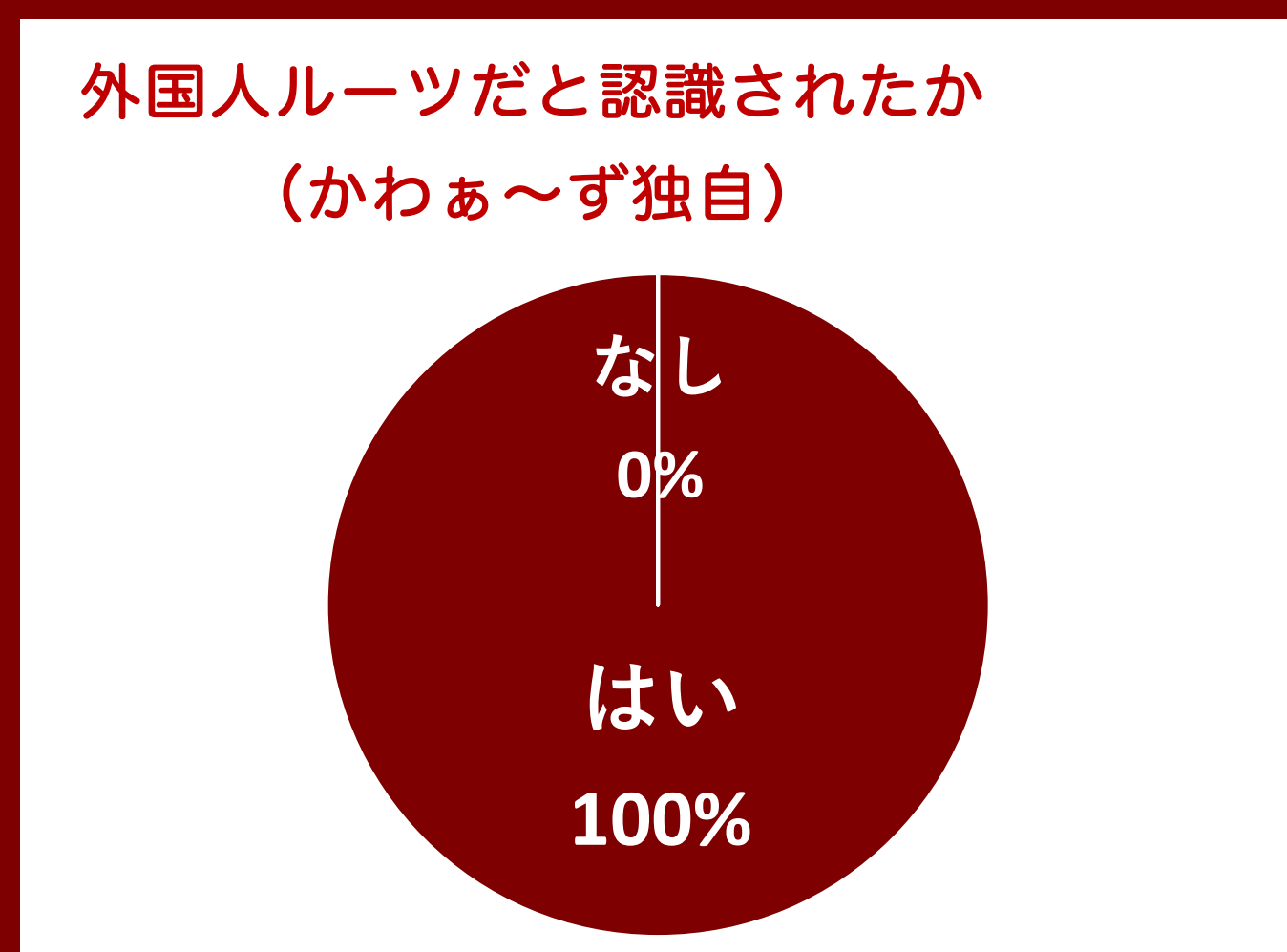
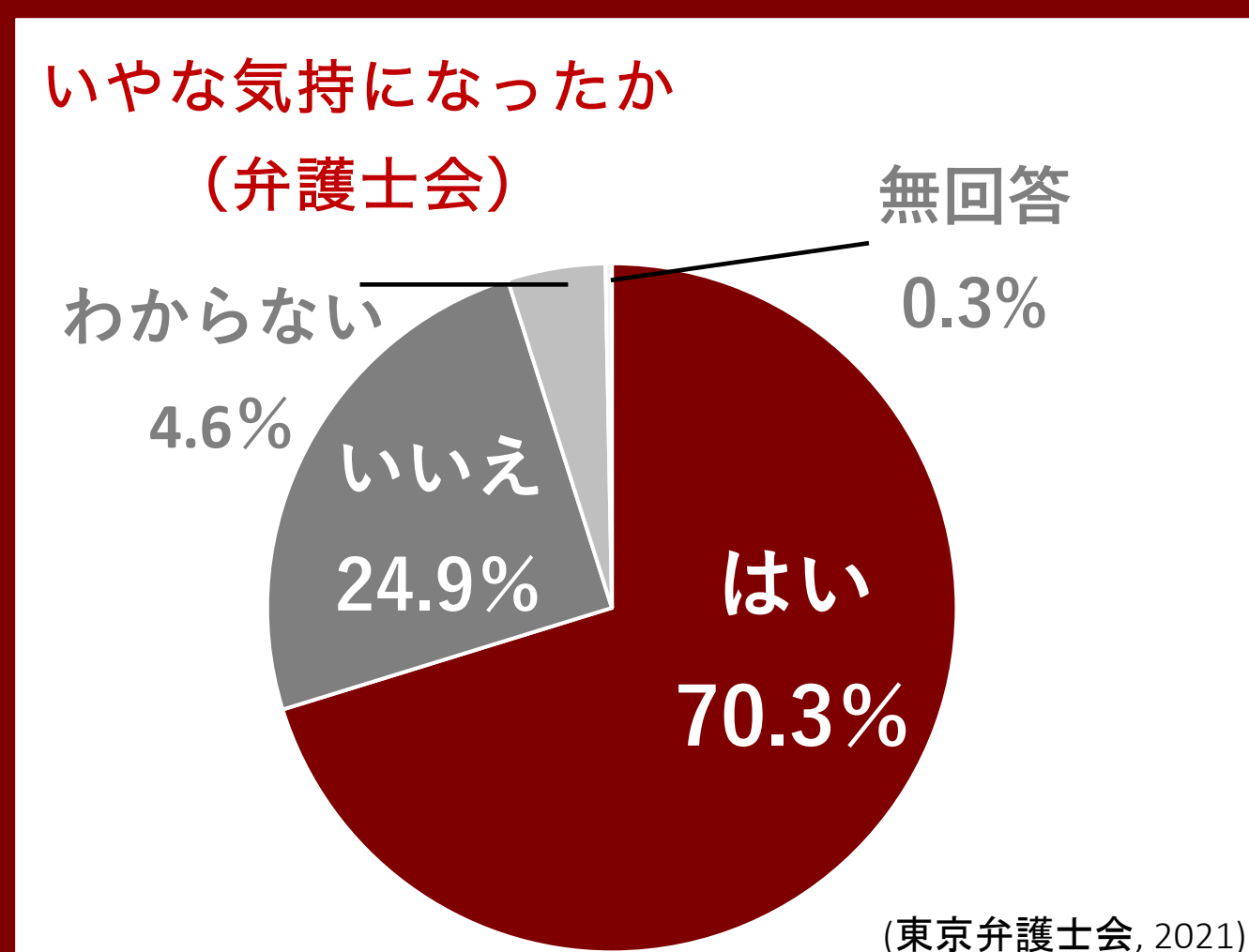
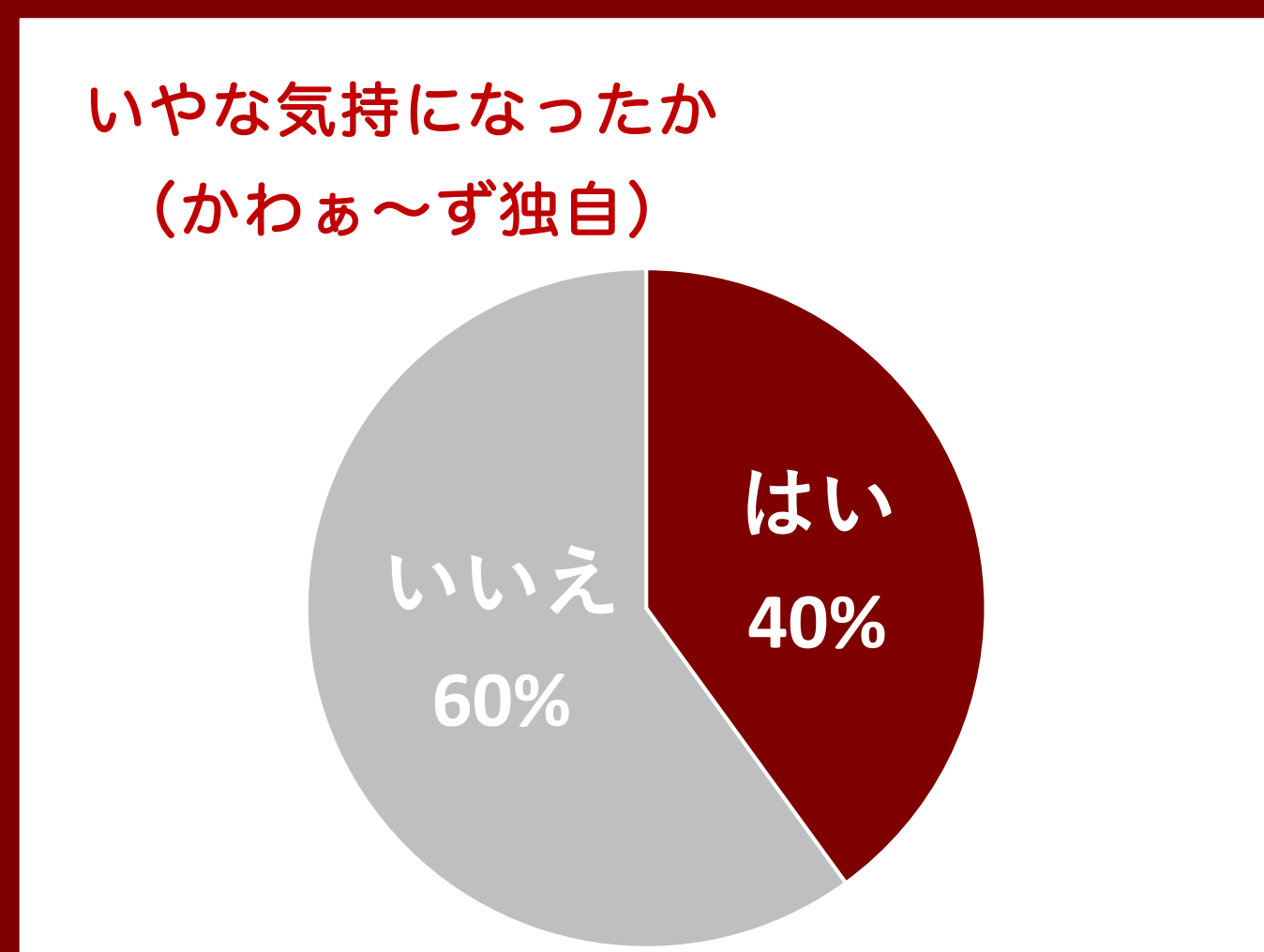
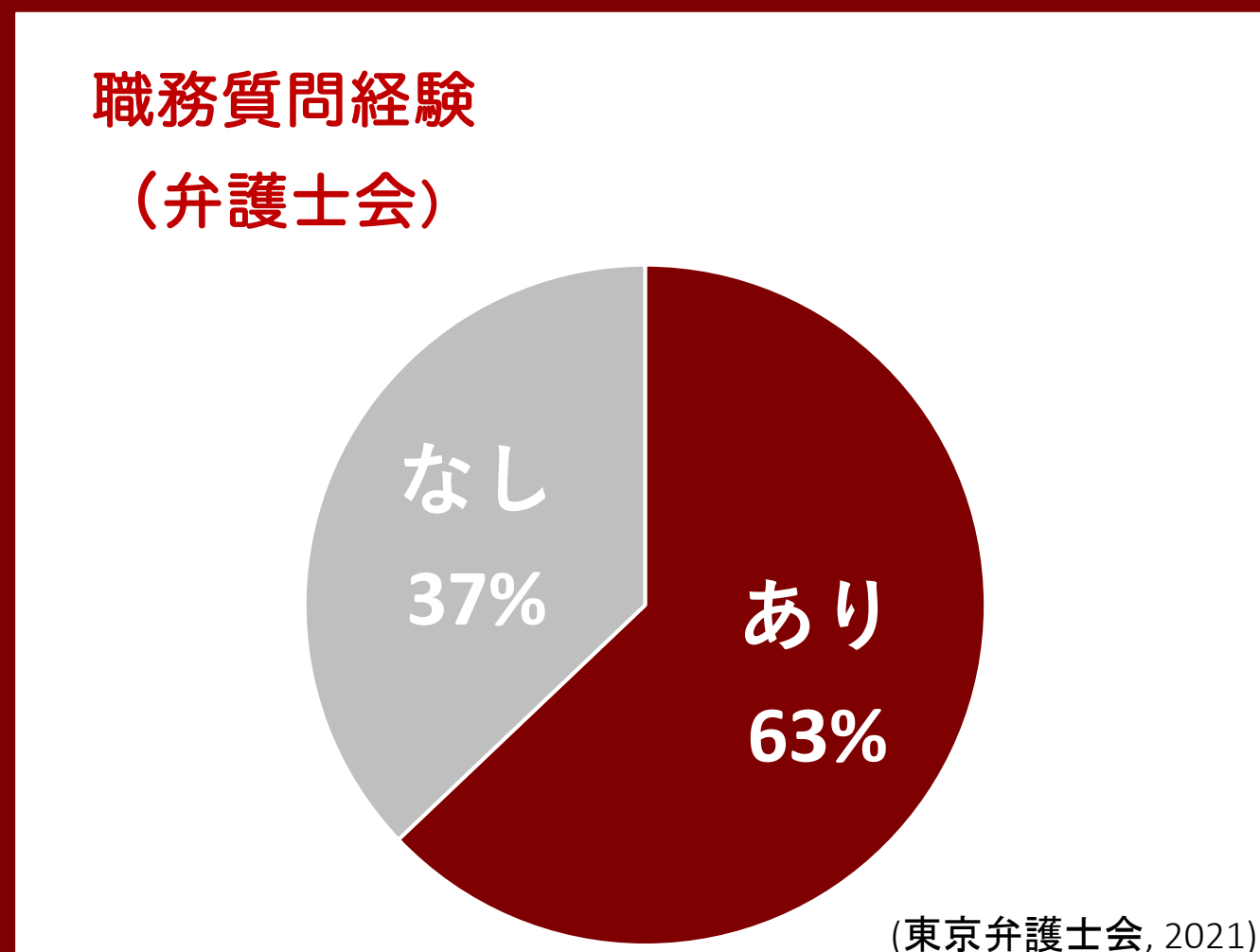
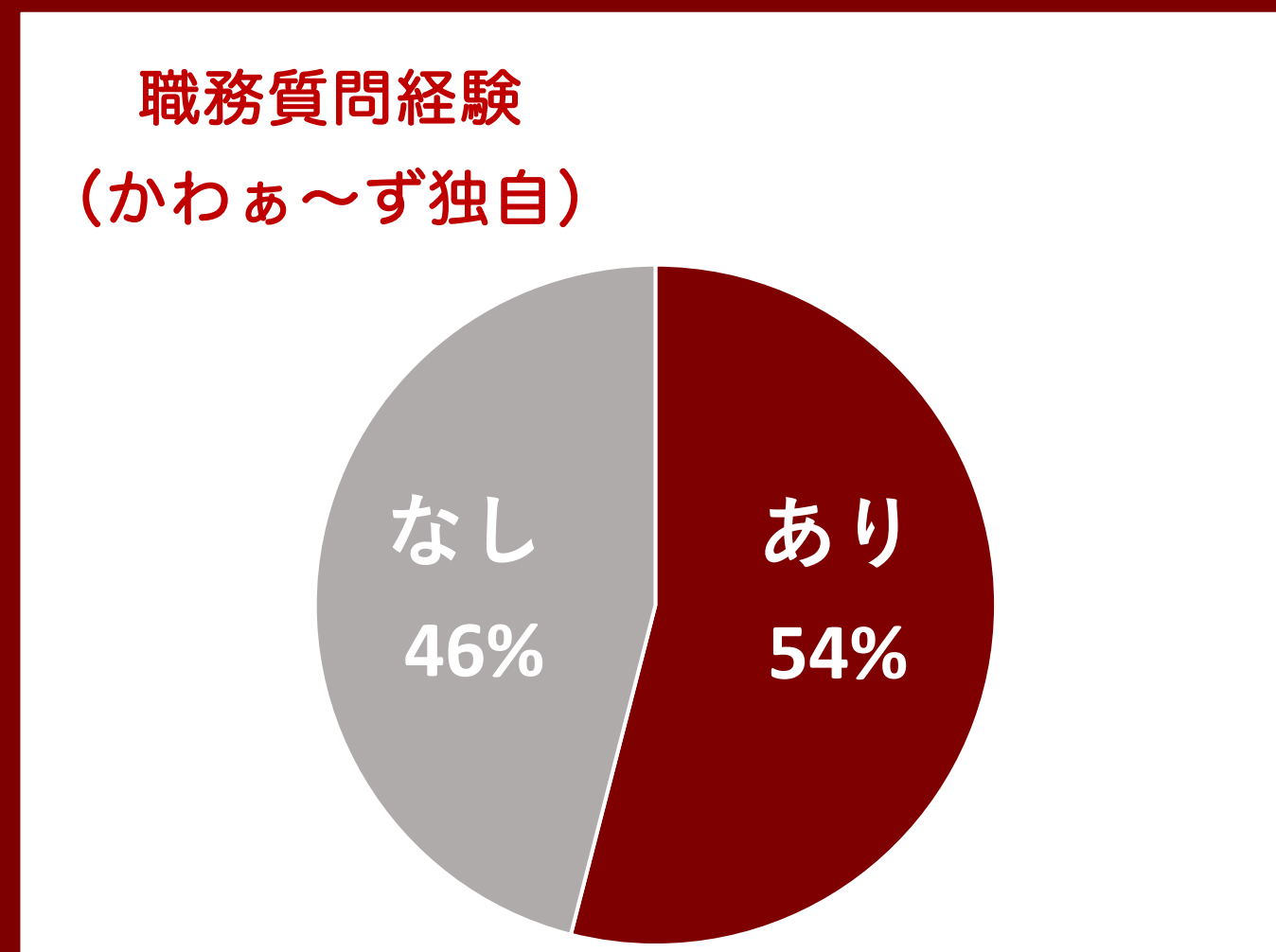
○日本の警察

・警察官職務執行法
第二条一項

・2021年 米国大使館の警告
→注目される

警察の活動に関する国家基準が定められていない

3. アンケートから見る日本の現状



「不快」な思いの背景として、
人種プロファイリングが社会の「アウトサイダー (外部者)」
であることを自覚させる機会になっている
+この構図を「しょうがないこと」として内面化することが問題

4. アメリカと日本の 人種プロファイリングに対する意識の差

2020年

《国連人種差別撤廃委員会》
人種プロファイリングについて
各国にガイドライン策定を勧告

2021年

アメリカ大使館、日本の警察に異例の警告！

↓
日本の警察は警告を無視！

日本の人種プロファイリングに対する
意識の低さが浮き彫りに



出典: <https://www.bbc.com/japanese/features-and-analysis-68969435>

実際に批判を受けた描写→

日清食品

PRアニメで大坂なおみ選手の肌の色を
実際よりも白い色で描いたため
「白人化」したと批判を受け、謝罪

日本の芸人

「大坂なおみ選手には『漂白剤』が必要だ」と発言し、
事務所が謝罪する事態に



出典: <https://www3.nhk.or.jp/news/html/2022/10/07/k10013847801000.html>

多くの組織的・制度的な文化において、「人種」についての
差別的な表現・行動が「誰も疑問に思わない」まま
公表・公開されていることが問題

結論／考察

人種プロファイリングは根拠のない職務質問
であるという点で問題のある差別的な行為である
⇒それに気づいていない、あるいは容認してしまう
組織文化・社会制度が問題である。

- 【参考文献】
- ・ American Civil Liberties Union. (2020). A Tale of Two Countries: Racially Targeted Arrests in the Era of Marijuana Reform. ACLU Research Report.
 - ・ National Public Radio. (2020). The History Of Policing And Race In The U.S. Are Deeply Intertwined.
 - ・ NYCLU. (August 9, 2022). STOP-AND-FRISK DATA.
 - ・ Statista Research Department. (October 4, 2022). Rate of fatal police shootings in the United States from 2015 to September 2022, by ethnicity.
 - ・ BBC.「日本の人種差別問題、『Black Lives Matter』で浮き彫りに」(2020年8月30日)
 - ・ e-Govポータル「警察官職務執行法(昭和二十三年法律第三十六号)」(2022年6月17日改正)
 - ・ IMADR「レイシャル・プロファイリングに関する一般的勧告 人種差別撤廃委員会が採択」(2021年1月29日)
 - ・ NHK「職務質問30回 身に覚えはないのに」(2022年10月17日)
 - ・ ジェニファー・エバーハート『無意識のバイアス』(2020年、明石書店)
 - ・ 東京弁護士会 外国人の権利に関する委員会「2021年度 外国にルーツをもつ人に対する職務質問に関するアンケート調査 最終報告書」(2022年 9月)
 - ・ 文公輝「レイシャル・プロファイリング」(2022年3月17日)